

平成31年度 調布市立神代中学校 学校経営計画

学校教育目標

○自ら学び、考える人になろう ○礼儀を重んじ、思いやりのある人になろう ○骨身惜しまず、働く人になろう ○体を鍛え、健康な人になろう

目指す学校像(ビジョン)

- 【目指す学校像】 だれもが生き生きと生活し、安心して通える学校
- 【目指す生徒像】 ○あいさつができ、素直にありがとうと言える生徒 ○何事にもあきらめず、挑戦する生徒 ○人の心の痛みがわかり、励ましてあえる温かい心をもつ
- 【目指す教師像】 ○人権を何より大切にし、人間性豊かな教師（誠実で、何事にも真摯に対応し愛情のある教師）
- 自らを律し、行動力、実践力のある教師（時間や約束を守り、百の輪より一つの実践をできる教師）
- 専門性に優れた教師（プロとしての指導力や先見力、見抜く力、判断力、研究心をもった教師）

本校の現状と課題

生徒は素直で明るく、真面目であり、学校生活全般が落ち着いて生活することができている。伝統ある学校であり、PTA・地域の方々の本校に対する愛情が強く感じられる。学校に対し職員に理解させ、組織として教育活動を率先していくことが課題面でもある。

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策
学力向上	「生徒が学ぶことに真剣となる授業」を目指し、生徒の自立学習の支援を推進する。	ユニバーサルデザインを取り入れ、生徒一人一人が、生き生きと参加できる授業を実践させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育を理解し、障害に対する理解を深めながら、一人一人の生徒により適した教育を実践する。 そのため、特別支援学級との連携を図り、特別支援教育の推進をする。 ・生徒が授業に集中できるよう、教室の黒板周りの掲示物を撤去させ、本時の目標等を表示させる。 ・数学、英語の習熟度別少人数授業を1・2年生で実施し基礎学力定着を図る。 ・生徒、保護者、学校評議員による授業評価、教員作成の授業改善推進プランを活用し、授業改善を図る。
		基礎基本的な学習内容を確実に身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書か朝学習を実施し基礎学力の定着を図る。家庭学習定着のため、各教科から課題配布をする。 ・基礎学力が不足がちな生徒に対し、取り出し授業や居残り学習を実施し、基礎学力の定着を図る。 ・学習ボランティアを活用し放課後学習教室（数学）の実施する。
健全育成	『感謝・感動・謙虚』を重点指導内容として、思いやりをもち、豊かな心の育成を図る。	心の教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつの積極的な励行と、あらゆる場面で人、物に対する感謝の気持ちを育てる指導。 ・いじめや差別に対しては厳しく臨み、お互いを認め合う心の居場所のある学級づくり。 ・道徳指導の充実を図る。校内研修にも道徳授業の研修を位置づける。道徳授業地区公開講座を実施し授業改善に役立てる。 ・大人に親身となつて話を聞く姿勢を作らせ、生徒が悩みを相談できる職員集団を作る。 スクールカウンセラーと連携し、不登校となる原因を探り、家庭訪問や個別指導の充実を図り不登校解消を図る。必要性に応じて関係諸機関との連携も考える。 ・規律意識の指導を高め、乱れた服装・ルールを守れない生徒に対しては生活指導部を中心に全教職員がルールの周知徹底を図る。 ・校内生活の中でマナー・エチケット感覚を身に付け、外人講師を活用し、国際理解も深めさせる。
		キャリア教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験では感動・感謝が得られるように努め、進路学習を通して自分の進路に関心をもつ指導を行う。
健康・体力づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の体力・健康推進の向上を図る。 ・校内美化環境の整備 	生徒の体力・健康意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック教育を推進し、トップアスリートを講師として招聘し、講演会の実施。 ・学校保健委員会を活用し、生徒の健康状況について取り上げ、健康意識の向上を図る。 ・保健だよりを定期的に発行させ、日常の生徒の健康意識の向上を図る。
		校内美化環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が生徒とともに清掃活動を行うことにより、清掃活動を徹底して清潔な教室環境の整備を図る。
保護者・地域との連携	保護者や地域に情報を発信する。そして、地域の声に耳を傾け、保護者や地域から見て、魅力のある学校にしていく。	生徒が安心して過ごし、保護者が安心して登校させることのできる学校にしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と家庭の生徒を良くしたいという目標は同じである。家庭での子育て方針を確認しながら、担任や学年と連携を図り、生徒の成長を促す。 ・伝統ある神代中であることを生徒達に理解させ、よりよい伝統を継承していく。
		地域から信頼され、魅力ある学校にしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の情報を発信し、保護者・地域から信頼される学校を目指す。生徒や保護者の意見を真摯に受けとめ、可能な限り、反映されるよう学校運営を行う。 ・学年・学級だよりを推進し、保護者の学校に対する理解啓発を図る。 ・ホームページ等の更新を常時行い、保護者や地域に新しい情報を提供する。 ・生徒や職員がPTA行事や健全育成会等の行事に参加し、PTAとの連携をより深める。 ・学校事故を出さないために、危機管理を教職員に意識を高める。同時に施設の安全点検を毎月実施する。 ・登下校や部活動で自転車を利用する際、必ずヘルメット着用を義務づけると共に、自転車保険への加入を
特色ある教育活動	教師力を高め、学級活動・学校行事・部活動・ボランティア活動の充実を図る。	教師力の充実と若手教員の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度からの2年間、市の教育研究校として「特別支援教育」に取り組む。さらに昨年度の校内研修テーマも継続させ、食物アレルギー対応・授業研究を通じて授業力の向上を目指す。特別支援教育も深め、個に応じた指導の充実をさせる。 ・組織の中にOJT担当を明確に設置し、実際の職務遂行を通して若手教員の育成をするとともに、ベテラン教員の再確認をさせる。
		学級活動・学校行事・部活動に充実とボランティア活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事、学級活動や部活動では生徒の主体性を発揮させ、生徒が企画・運営をする学校行事や部活動になるよう指導していく。 ・ボランティア生徒を募集し、地域の防災訓練や校内美化活動に参加させる。

た生徒

てとても協力的で活発である。本校に対する期待値も高く、教

評価指標

※ 数値目標が可能な項目について設定する

- ・週1回生活指導部会と特別支援校内委員会を実施、支援の必要な生徒等の確認。
 - ・年2回 生徒による授業評価の実施
 - ・年2回 保護者・学校評議員等による授業評価の実施
 - ・年1回校内で研究授業を実施し、協議会の実施。
 - ・月1回の職員会議で、ユニバーサルデザインを呼びかけ、職員の意識改革。
- ・毎日の朝読書（朝学習）の実施。
 - ・学級不適応生徒の取り出し授業、年間200日
 - ・放課後学習（16時から1時間）を年間40日
- ・毎月、いじめ調査を実施。
 - ・生徒に生活指導アンケートを実施し、「学校が楽しい」と言う回答が85%以上。
 - ・人権作文 2年生で参加させる。
 - ・スクールカウンセラーによる1年生全員面接の実施。
 - ・各集会後に、生徒の服装点検の実施。
 - ・校外学習では、マナー、エチケットの指導にも重点的に指導させる。
- ・外部講師を招聘し、学年ごとのキャリア教育を最低1回実施する。
 - ・今年度は、オリパラ教育としてアスリートの講演会を1回実施する。
 - ・毎月の保健だよりを発行させる。
 - ・学校保健委員会を1回開催する。
 - ・綺麗な学校を目指し、「学校の清掃活動がしっかりと行われている」という項目で肯定的な回答を90%以上にする。
 - ・常に学校と家庭の連携を大切にし、生徒一人一人を大切に育てていく。その為にも、学校と家庭の連携を充実させる。
 - ・「神中生としての誇り」をもち、肯定的な意識させる。
- ・学校だよりの毎月の発行。
 - ・健全育成の行事参加に対し、教職員の担当を決定する。
 - ・自転車通学生徒に、毎月の安全指導で呼びかける。
 - ・毎朝、自転車通学生徒に対し、教職員がヘルメットの着用を確認すると共に、自転車置き場で安全点検を実施させる。
- ・特別支援教育に対して、教職員の意識を高めるために、学期に最低1回の資料提供を行う。
 - ・毎月の職員会議後に、OJT委員会を中心に研修会を実施。
- ・生徒会担当教諭等を中心に、体育祭等の行事で企画・運営を実践させる。
 - ・地域防災訓練参加 11月1回
 - ・校内美化活動 8月1回